平成28年4月28日(木)～5月8日(日):11日間

ゴールデンウィーク期間中の交通状況(速報)

※比較対象は前年の４月28日(火)～５月８日(金):11日間

国土交通省道路局と高速道路各社はゴールデンウィーク期間中の高速道路・国道の交通状況の速報値を発表した。

ゴールデンウィーク期間の交通量は、昨年と比べ約2%減少した。10km以上の渋滞回数は、274回で、昨年と比べ22回減少した。

【高速道路の交通状況】

①期間中の交通量　全国の高速道路の主な区間

	H28 年度実績 [1]	H27 年度実績 [2]	対比 [1] ／ [2]
日平均交通量	41,800 台／日	42,800 台／日	98%
最大日交通量	57,200 台／日	60,400 台／日	95%

②混雑状況　渋滞回数

	H28 年度実績 [1]	H27 年度実績 [2]	対比 [1] － [2]
10 km以上の渋滞	274 回	296 回	▲ 22 回
内 30 km以上の渋滞	20 回	30 回	▲ 10 回

《各社の特に長い渋滞発生個所》

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生個所	渋滞日時（ピーク）	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	関越道	藤岡 JCT 付近	5 月 3 日（火）11 時 00 分頃	70.2 km	交通集中及び事故
	上り線	東北道	上河内 SA 付近	5 月 5 日（木）12 時 55 分頃	46.5 km	事故及び交通集中
中日本	下り線	中央道	相模湖 IC 付近	5 月 3 日（火）7 時 40 分頃	43.7 km	交通集中
	上り線	中央道	小仏 TN 付近	5 月 5 日（木）16 時 20 分頃	32.0 km	交通集中及び事故
西日本本四	下り線	名神高速	京都東 IC 付近	5 月 1 日（日）18 時 55 分頃	37.9 km	交通集中及び事故
	上り線	神戸淡路鳴門道	舞子 TN 出口付近	5 月 4 日（水）19 時 00 分頃	35.0 km	交通集中及び事故

【国道の交通状況】

①期間中の全国の交通量　全国の国道の主な区間

	H28 年度実績 [1]	H27 年度実績 [2]	対比 [1] ／ [2]
日平均交通量	28,400 台／日	29,000 台／日	98%

②期間中の観光地周辺の交通量　観光地周辺の国道の主な区間

	H28 年度実績 [1]	H27 年度実績 [2]	対比 [1] ／ [2]
日平均交通量	28,800 台／日	29,100 台／日	99%

主張

今後5年間の踏切対策について

去る3月31日に改正踏切道改良促進法が参議院本会議で、全会一致で可決、成立され、4月1日から施行された。この踏切道改良促進法の昭和36年に施行後50年で全国の踏切数は半減し、遮断機の無い踏切も約1割まで減少したが、依然として踏切事故や渋滞が発生している。特に、ピーク時遮断時間40分以上の開かずの踏切は全国で約600箇所あり、踏切が渋滞の起点となっている箇所も多数存在し、円滑な交通の支障となっている。事故防止や交通の円滑化を促進するべく、踏切道改良促進法に基づいて5年毎に期限を定めて国土交通大臣が箇所と改良方法を指定して、踏切の改良が進められてきた。平成19年に「開かずの踏切」や「自動車ボトルネック踏切」など緊急に対策の検討が必要な1，960箇所の踏切を緊急対策踏切として公表されたが、このうち指定された踏切は約3割となっている。これは、国土交通大臣の指定は改良の方法を定めた上で指定することになっており、「立体交差化」、「構造の改良」、「歩行者立体」又は「保安設備の整備」の4つのいずれかを道路管理者と鉄道事業者が改良方法を合意した踏切でなければ指定できないのが実態となっていること、改良方法が限定しており現場において多様な対策がとりづらいこと、改良について地域一体となって協議する場がなく協議の過程が見えないことなどによるものであった。

今回の改正内容では、危険な踏切道や渋滞の原因となる踏切道など課題のある踏切について着実に国土交通大臣が指定を行い、協議会を通じたプロセスの「見える化」も推進し、道路管理者・鉄道事業者や地域の関係者が連携して、具体的な対策を検討し促進できるようにされたものである。具体的なポイントは、①改良が必要な踏切道の指定。踏切道の指定基準について、通学路において児童の通行の安全を特に確保する必要がある箇所、直近の5箇年において2回以上の事故が発生した箇所、地域の実情を考慮して踏切道の改良による事故の防止又は交通の円滑化の必要が高い箇所など課題のある踏切道も対象として、指定にあたっては道路管理者と鉄道事業者で改良方法が合意できていなくても、速やかに指定できることとし、今後緊急対策踏切を中心に5年間で1，000箇所以上を指定し対策の促進が期待される。②改良方法の検討をするための地方踏切道改良協議会の創設。協議会は指定された踏切道の対策の検討にあたっては、検討プロセスの「見える化」を行い、道路管理者、鉄道事業管理者のみならず、地域の関係者の意向も含めて地域一体となって協議するものであり、踏切道の地域の実情に応じた対策の検討がこれまで以上にスピードアップすると期待される。更に協議会の構成員に地方整備局と地方運輸局も加わり、道路行政・鉄道行政の知見を活かして助言等により関係者の合意形成の促進も期待される。③改良の方法。立体交差化等の4つの手法に加え、連続立体交差事業等の抜本的な踏切対策については、検討段階から事業完了までに長期の期間を要するものもあるため、当面の対策として歩車分離がされ安全かつ円滑に通行が可能となるカラー舗装や踏切周辺対策として踏切を通行する交通を分散して事故の減少や交通の円滑化が可能となる自由通路や踏切周辺の駐輪場の整備により、段階的な対策により効果的な推進が期待される。

今後、全国の「開かずの踏切」など自動車交通の支障となっている踏切道、歩道が狭隘などで歩行者の安全な通行が確保されていない踏切道などについて、速やかな指定により踏切道の周辺を含めた幅広い踏切対策が促進され、踏切による交通渋滞や事故発生などが一日も早く改善されることを期待する。

NEXCO中日本は、安全を何よりも優先し、高速道路を安心・快適に利用してもらうため、集中工事やリニューアル工事を行う。

《名神集中工事》
2016年5月30日(月)午前0時～6月11日(土)午前6時
名神高速道路〔吹田IC～春日井IC〕
※6月4日(土)午前6時～6月5日(日)24時は、工事を行わない。

《東名リニューアル工事》
2016年5月9日(月)午前0時～7月10日(日)24時
東名高速道路〔焼津IC～静岡IC〕
※土日を含む63日間連続工事。

《中央道集中工事》
2016年6月6日(月)午前10時～6月18日(土)午前6時
中央自動車道　上り線〔調布IC～高井戸IC〕
※下り線は、22時～6時の夜間規制を実施。
※6月11日(土)午前6時～6月13日(日)午前10時は、工事を行わない。
※各工事の詳しい内容はホームページで。

【名神集中工事】http://meishin-info.com/
【東名リニューアル工事】http://tomei-renewal.com/

集中工事・リニューアル工事

NEXCO 中日本

道の駅新規登録

14駅追加され、道の駅は1，093駅に

駅名	設置箇所	路線名	整備手法	オープン予定
うご	秋田県雄勝郡羽後町西馬音内中野 200 番地	一般道道 398 号	単独	H28 年度
しょうない	山形県東田川郡庄内町狩川外北割 97 番地 1	一般国道 47 号	単独	H28 年度
猪苗代	福島県耶麻郡猪苗代町堅田五百苅 1 番地	一般国道 115 号	一体	H28 年度
ましこ	栃木県芳賀郡益子町長堤 2271 番地	主要地方道 つくば益子線	一体	H28 年度
つる	山梨県都留市大原 88 番地外	市道 大原線	単独	H28 年度
清流の里しろとり	岐阜県郡上市白鳥町向小駄良 693 番地 2	一般国道 156、158 号	単独	H28 年度
熊野・花の窟	三重県熊野市有馬町 137	一般国道 42 号	単独	H28 年度
田切の里	長野県上伊那郡飯島町田切 2598-1	一般国道 153 号	一体	H28 年度
神戸フルーツ・フラワーパーク　大沢	兵庫県神戸市北区大沢町上大沢 2150	主要地方道 山田三田線	単独	H28 年度
かつらぎ	奈良県葛城市太田 1257 番	一般国道 166 号	単独	H28 年度
びんご府中	広島県府中市府川町 230 番地 1	市道 府川 11 号線	単独	H28 年度
すいかの里　植木	熊本県熊本市北区植木町岩野 160 番地 1	一般県道 329 号原植木線	単独	H28 年度
芦北でこぽん	熊本県葦北郡芦北町佐敷 443	主要地方道 芦北球磨線	単独	H28 年度
慈恩の滝　くす	大分県玖珠郡玖珠町山浦 618 番地の 24	一般国道 210 号	一体	H28 年度